

VISIONARY

JOURNAL

doctor's voice (I) | 内科・消化器内科 | 心療内科・精神科 | 眼科

1

新家卓郎

尾張旭にいのみ
内科消化器内科クリニック
愛知・尾張旭市

2

鷹見将規

たじみすいみんクリニック
岐阜・多治見市

3

一尾享史

さくらの森眼科
三重・鈴鹿市

私たちが V·drug で
“開業”した理由



VISIONを持つ、 ということ。

より良い未来を描き、自分自身で創っていく。
医師の夢や使命、患者さんとの向き合い方、地域社会への貢献、
家族と生活、恩師や仲間との関係、健康、資産、価値観、
これからどのような人たちに出会い、どのように時間を使うのか…。
人生のさまざまな構成要素から成る理想の人物像に向かって生きる、
「VISIONARY」= 明確な将来の展望・構想を持つ人。
「V·drug」で開業を決めたドクターたちの本物の声、視線の先が、
新しい一步のきっかけやヒントになるかもしれない。

一歩先へ着実に進む



愛知・尾張旭市

誰と働くか

「忙しいけど、毎日楽しい」
開業した友人がきつかけ。
年目、病院全体で自分のできることを考え
ていた時期です。指導者という形が増え、
自分が磨いてきた内視鏡技術を直接提供
する機会が限られてきたため、「もっと
多くの患者さんに実際に向き合えたら」
という気持ちが強くなっています。ちょ
うどその時期に開業した友人が開業につ
いて色々と教えてくれて、「開業して忙し
いけど、やりたいことをやっているから毎
日楽しいよ」という言葉が自分を後押しし
たのです。開業を考え始めて1週間ほど
で、開業した友人の担当者さんを紹介して
いたいたり、他の開業支援の方との面談
を行ったり、パートナー選びから着手。開
業についてはわからないことが非常に多く、
業者さんとの面談や選択すべき事項も

「V·drug」は事業の基本、
土地関係の心強いサポート。
やはり開業地は、最重要事項の一つで
す。多くの紹介案件は一つずつ自分なり
に精査、実際に現地へ行き、地域性や生活
動線などを考えドラッグストアとの協業
を選択。「V·drug 城山店」の土地は複数の
地主さんが関係しており、「V·drug」の担
当者さんは開業に向けた地主さんとの
面談調整や契約書作成なども協力してい

山積みで、働きながらではあまり時間があ
りません。例えば、医療機器やシステムな
どの判断にあたっては性能の違いや予算
なども考慮しますが、ほぼ同じ性能で金額
の向き合い方を言葉や対応から判断し、自
分が信頼できると思う人、会社を選ぶよう
にしました。

CASE STUDY 1

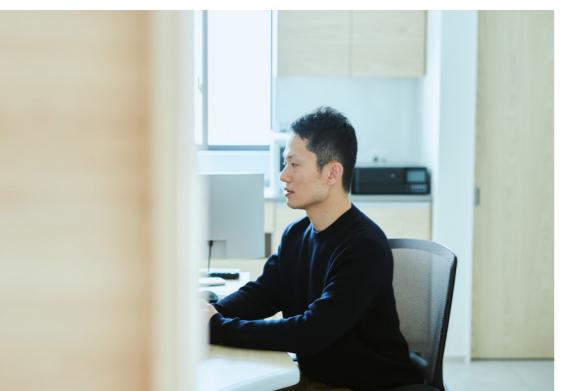
内科・消化器内科 × V·drug

尾張旭にいのみ
内科消化器内科クリニック

新家 卓郎 先生

Profile

藤田保健衛生大学(現 藤田医科大学)医学部卒業。名古屋記念病院、大垣市民病院、名古屋大学医学部附属病院でオールラウンダーの消化器内科医を目指す。公立陶生病院消化器内科部長に就任後、開業。



信頼できる人とともに、
段取り重視の開業。

これから医療のあり方を考え、Web
問診やWeb予約をはじめ、ホームページ
これまでの医療のあり方を考え、Web
問診やWeb予約をはじめ、ホームページ

これまでの医療のあり方を考え、Web
問診やWeb予約をはじめ、ホームページ

CASE STUDY

心療内科・精神科 × V·drug

たじみすいみんクリニック

鷹見 将規 先生

地元企業「V·drug」と地域に貢献できる喜び。

私は多治見で生まれ育ち、大学進学を機に滋賀へ。結婚して子どもも生まれては地元に戻り、地域に密着した医療を行なったと常々思っていました。開業に向けては戸建てやビルテナントなどのさまざまな選択肢を考え、知人の紹介で「V·drug」とご縁があり、この土地での開業を検討。最終的に自分の思い描く診療スタイルに合いそうな「V·drug」の話に決めましたが、多治見に本社がある企業と一緒に地域の医療に取り組むことになり、うれしく感じています。私自身、昔からドラッグストアと言えば「V·drug」というイメージでよく利用し、滋賀でもたまに見かけると身近に感じていました

る場合は珍しいことではなく、早く受診していたただくことで、悪化する前に治療に繋がる点でもメリットがあります。当院は東濃地方で睡眠障害全般について診療する唯一の専門医療機関として、PSG（終夜睡眠ポリグラフ）検査やMSLT（反復睡眠潜時検査）などを実施。PSGはクリニック内の検査室で一晩の睡眠を評価する検査で、患者さんから「V·drug」の隣だから、「忘れ物をしても安心」と言われることもあります。

周辺からも利便性の良い、自分にとつてベストな選択。

開業地は駅の近く、もしくは幹線道路の近くで考えていました。地域のために精神科医療を担うのはもちろんですが、睡眠障害は割と広いエリアから患者さんが来院される傾向があるので、睡眠にお困りの方がアクセスしやすいのは求めていた条件です。ここはJR「多治見駅」から徒歩5分で、国道248号からも近い立地。診療圏調査（精神科）では数値が芳くなかったものの、自分にとってはベストな選択でしたね。私が開業するまで多治見市内にある心療内科・精神科は2軒だけで、多治見に限らず周辺の自治体にも「すぐに予約が取れなくて受診しづらい」と聞いていました。新規開院により、この辺りの皆さん方が以前と比べて早く受診できるようになつた環境面では、いくらか貢献できたかなと思います。実際に回復された方から「受診しやすくて、早く相談できたのが良かった」という声をい

ね。「V·drug」の担当者さんとのコミュニケーションが取りやすく、うまく調整やコーディネートをしていただき、約1年の準備期間を経て開業しました。

患者さんが受診しやすい
睡眠障害全般の専門治療。

「たじみすいみんクリニック」の名前は、この地域の睡眠に問題を抱えている人のお困りごとの解決を通じて、生活の質を高めるためのお手伝いができるほどという思いから、「滋賀医科大学病院」の精神科で睡眠障害や気分障害を中心に行なっている経験の中で、精神科外来とう看板の方が患者さんの受診に対する心理的ハードルが低いと感じていました。精神疾患でも睡眠の症状が初期に出てくる

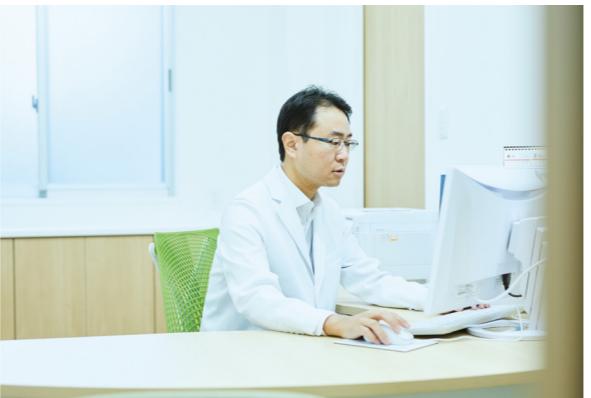
Profile

私立東海中学校・高校、滋賀医科大学医学部を卒業。滋賀医科大学医学部附属病院精神科で医員・助教、滋賀医科大学医学部睡眠行動医学講座の特任助教を務める。岐阜県の企業で産業医勤務を経て、開業。

岐阜・多治見市

地元に根ざし、成長する

睡眠にお悩みの方
が
広く相談できる窓口



心療内科・精神科
たじみすいみんクリニック
開業日 2021年11月1日
Add. 岐阜県多治見市前畠町1-8
JR中央本線「多治見駅」徒歩5分
Tel. 0572-56-7837
Web. tajimisleep.com

ただいたことがやはり一番うれしくて、ここでやる意義を感じました。
地域に開けた温かみがあり、明るいメンタルクリニック。
新築の「V·drug 多治見駅南店」に隣接したテナントということで、建物の設計をゼロから始めるタイミングでクリニックが入居する場所、過ごしやすい待合室や安全な動線のレイアウトなどを色々と相談し、より患者さんの快適性を高めるような造りにすることができたと思います。3面採光の日当たりと風通しの良いクリニックは、淡いグリーンの配色が優しくリラックスできる空間。悪い夢を食べてくれるパクスでイメージキャラクターにして、診察券や診断書を入れるクリアファイルにも描くなど、睡眠について気軽に相談しやすい雰囲気作りをしています。開業して3ヶ月、日々の診療に+aの業務も加わり目の前のこと、精一杯ですが、まずは一日一日取り組んでいきたいですね。

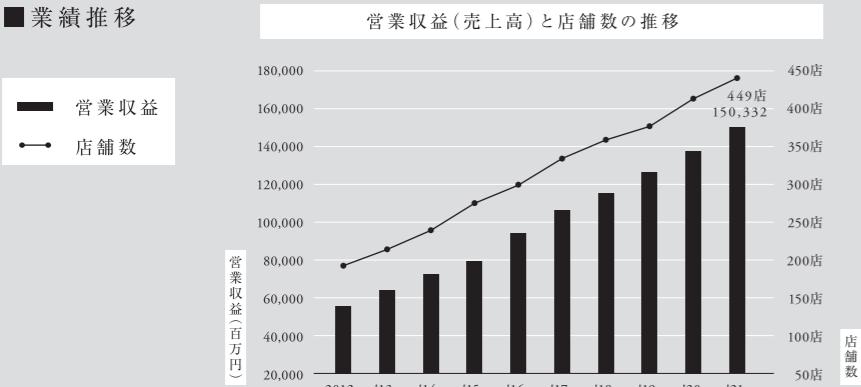
「V·drug」はあなたの立場に寄り添って開業支援をしています。
より良い未来を共創し、たくさんの「ありがとう」をいただきませんか?



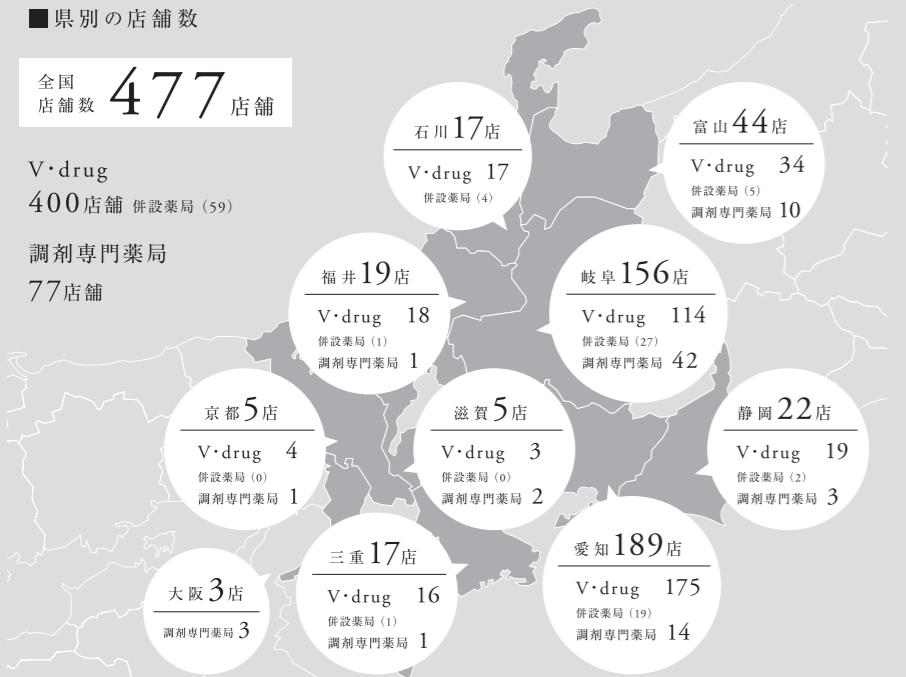
データで見る「V·drug」

開業を考える ドクターの相談例

業績推移



■ 県別の店舗数



*岐阜県の調剤専門薬局には、(有)ひだ薬局、(有)アオイ薬局の店舗を含む *滋賀県の調剤専門薬局には、(株)オフィス澤田の店舗を含む
*大阪府の調剤専門薬局には、(有)つるまるの店舗を含む

- イ 開業希望エリアの
良い物件があるか
 - イ 土地があり、一緒に
出店してもらえないか
 - イ 開業形態を迷っている
 - イ 何から手を
つけたらいいのか
 - イ 今の仕事が手いっぱいで、
準備の時間が取れない
 - イ 資金調達が
うまくできるだろうか
 - イ 最適な建築や
内装デザインを実現したい
 - イ 相見積もりを依頼できるか
 - イ 人事や労務管理は
どうすればいいのか
 - イ ITシステムの導入に
ついて教えて欲しい
 - イ 患者さんは本当に
集まるのだろうか
 - イ ご近所付き合いを
友好的に行いたい



INTERVIEW

中部薬品
代表取締役専
医療本部長

クリニツク開業支援にかける
「V・drug」の思い。

を描くように。多岐にわたるサービスを提供し、さまざまなお悩みの解消にも努めます。

も一緒に取り組んでいきたいと思つて
います。

の受け取り方を選んでいただける体制を整えます。保険薬局のオートメーション化を図ることで業務の正確性、効率化を高め、薬剤師の患者様と接する時間を増やす工夫も。私たちが大切にする考え方「三方よし」の関係は、「ドクター」「お客様、患者様」「*v·drug*」のすべてが幸せになるため、皆様が望むビジョンを定めたり、サービスの向上や設備投資に利益を循環させたり、時代や状況に応じて変化する労力を惜しみません。中部薬品という企業、このメンバーと取り組んで良かったと思われる世界を目指します。



「V・drug」開業支援の特設Webページでは、さらに詳しい情報を更新中。



中部薬品株式会社

〒507-0078 岐阜県多治見市高根町4-29
Tel. 0572-27-3911 Fax. 0572-27-3912
www.vdrug.co.jp

お問い合わせフォームからのご連絡は

24時間受け付け、順次お返事いたします。

各関係業者への連携や多岐にわたる資源を生かして
全力でサポートしますので、どんな些細なことでも、
まずは中部薬品 医療開発部宛にお気軽にご相談ください。



お問い合わせフォーム